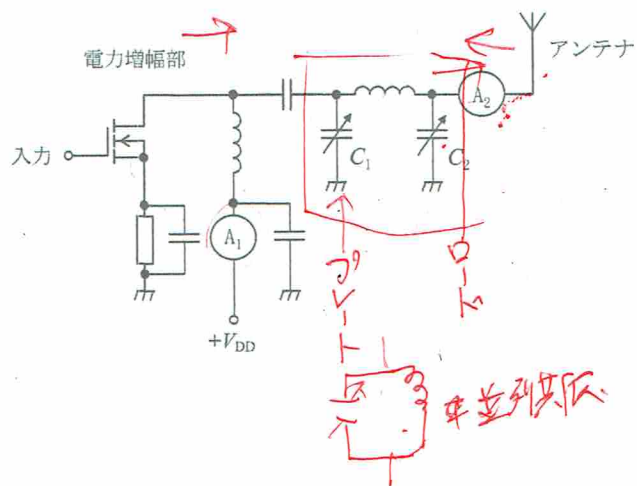


A-13 次の記述は、図に示す送信機の終段に用いるπ形結合回路の調整方法について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には同じ字句が入るものとする。

- (1) 可変コンデンサ C_2 の静電容量を最大値に設定した後、終段電力増幅器の直流電流計 A_1 の指示が □ A □ となるように、可変コンデンサ C_1 の静電容量を調整する。
- (2) 次に、 C_2 の静電容量を少し減少させると、アンテナ電流を示す高周波電流計 A_2 の指示値が □ B □ し、終段電力増幅器のドレイン電流が □ C □ する。再度 C_1 を調整して、直流電流計 A_1 の指示が □ A □ となる点を求める。
- (3) (2) の操作を繰り返して、高周波電流計 A_2 の指示値が所要の値となるように調整する。

	A	B	C
1	最大	増加	増加
2	最大	減少	減少
3	最大	増加	減少
4	最小	減少	増加
5	最小	増加	増加



(HZ104-3)

Y-11 図に示す送信機の終段に用いるπ形結合回路の調整方法について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には同じ字句が入るものとする。